



未来・万人さ・高崎100年  
共生都市の創造

たかさき  
薪能

能

高崎市市制100周年記念公演

第15回  
たかさき薪能

高崎市城址公園（高崎市役所前）

雨天の場合：群馬音楽センター

平成12年9月22日（金）  
午後6時00分開演

（午後5時30分より演目解説）

観覧券発売中

自由席券 ¥4,500 指定券 ¥5,000（当日券 ¥5,000）

能（菊尾童）観世流 川原恵三他  
狂言（苞山伏）和泉流 野村萬春他  
仕舞（高砂）観世流 観世芳宏  
（井筒）観世流 藤波重満  
（天鼓）観世流 武田志寿  
能（班女）観世流 下平克宏他

会場 高崎城址公園（高崎市役所前）  
主催 高崎市・（社）高崎観光協会  
お問い合わせ TEL027-321-1257  
後援 高崎商工会議所

プレイガイド

高崎駅構内観光案内所・高崎市文化会館・群馬音楽センター

天草堂・カップビア・高島屋・スズラン・英眼院・山徳記念館・鶴山荘



# 演目解説

## 能 菊 菫 童

魏の文帝の臣下が勤命を受けて野嶽山に出掛ると、七百歳になる菫童がいた。

菫童は、法華經の偈を書いた菊の葉から、したたり落ちる露を飲んで、不老不死の身になったことをのべる。そしてその菊水を勤使にも勧める……。

## 能 班 女

野上の宿の遊女花子は、吉田の少将と契りを結び、扇を交換して別れた。その後、花子は、うつづな状態となり、花子は人々に班女と呼ばれた……。

花子が物狂いの状態で登場し、少将との再開を神に祈り、恋慕の情をのべながら舞う。吉田の少将は、女に扇を見せてほしいと言ひ、自らの扇を与えて、その扇により、互いが愛する人だとわかったのである。

### ★班女

前演成帝の寵妃、班婕妤。帝の愛を失った自分自身を、秋になって捨てられる扇にたとえて詩作した。

## 演者及びスケジュール(予定)

17:30~18:00	演目解説 (30分)	有川美亀男 (群馬大学名誉教授)
18:00~18:15	あいさつ・火入の儀	
18:15~18:55	能 菊 菫 童 (40分)	
	シテ (菫童) 川原恵三	
	ワキ (勤使) 村瀬 提	
	笛 藤田次郎	
	小鼓 森沢勇司	
	大鼓 亀井広忠	
	太鼓 徳田宗久	
	後見 武田志房 藤波重彦	
	地謡 観世芳宏 浅見重好	
	松木千俊 大松洋一	
	藤波重孝 北浪貴裕	
	武田友志 新江和人	
18:55~19:15	狂言 苞山伏 (20分)	
	シテ (男) 野村萬斎	
	アド (山伏) 月崎晴夫	
	アド (山伏) 石田幸雄	
19:15~19:30	仕舞 (15分)	
	高砂 観世芳宏	
	井筒 藤波重満	
	天鼓 武田志房	
	地謡 武田尚浩 浅見重好	
	松木千俊 藤波重彦	
	休憩 (20分)	
19:50~21:15	能 班 女 (80分)	
	シテ (花子) 下半克宏	
	ワキ (吉田少将) 村瀬 純	
	岡 (野上宿の長) 野村萬斎	
	笛 藤田次郎	
	小鼓 森沢勇司	
	大鼓 亀井広忠	
	後見 藤波重彦 武田尚浩	
	地謡 高橋弘 今井泰介	
	松本尚之 大松洋一	
	藤波重孝 小松山浩二	
	新江和人 金子聡哉	
21:10	終了 (予定)	

## 狂言 苞 山 伏

山伏と山人が、道で眠っていると、そこを通りかかった男が、山人の昼食の苞を盗んで食べてしまう。目覚めてから、誰れが食べたのかと争いとなる……。山伏が犯人の男を折り出して、山人が男を追い込んでいく。

